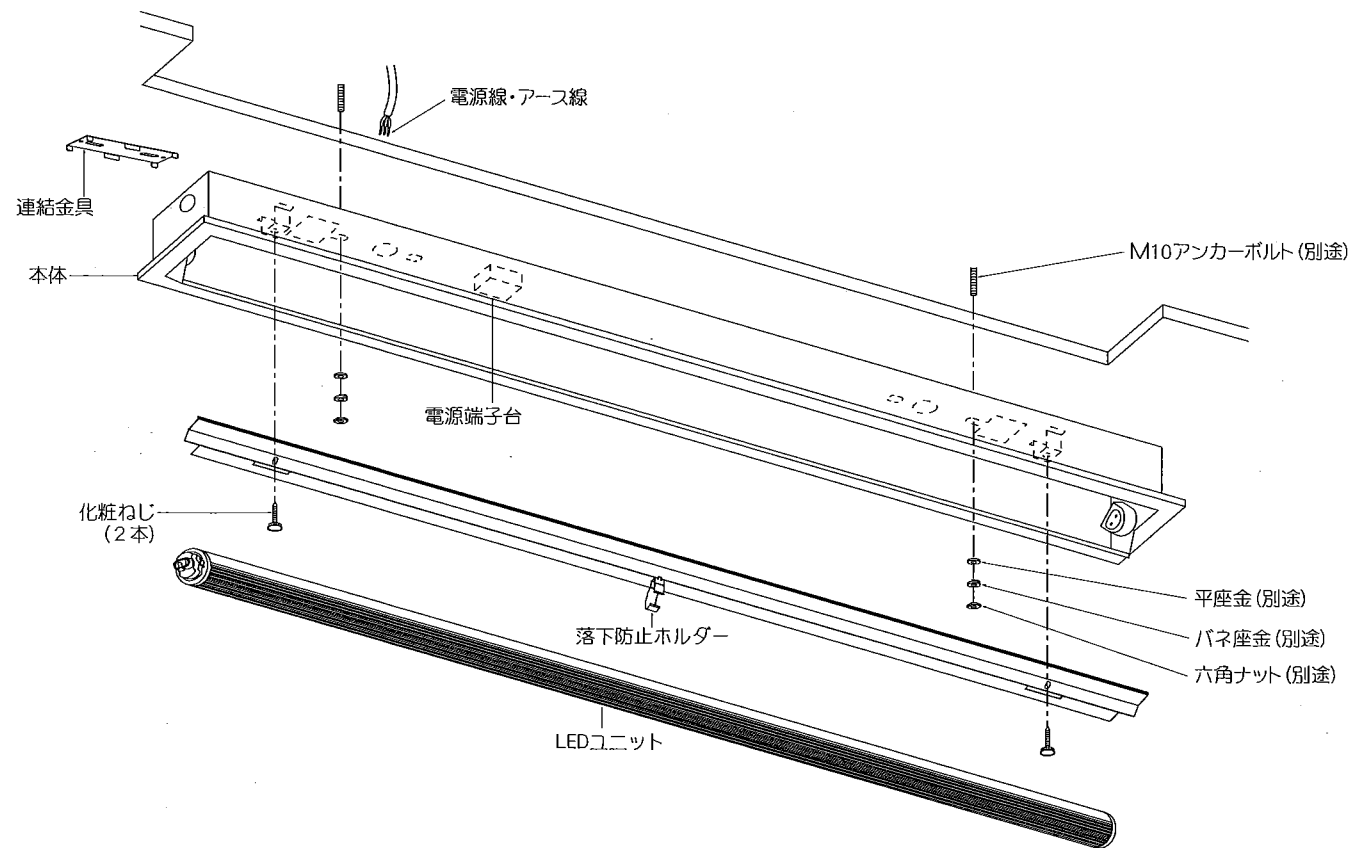


LEDZ

【型番】 ERK9477W

◆各部の名称



◆適合LEDユニット(別売)

・定格値については仕様図の別表を参照ください。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

◆無線調光タイプの製品について

・詳細に関してはSmart LEDZ Fit/Fit Plusシステム各製品の取扱説明書を参照ください。
・その他の調光制御システム(旧Smart LEDZを含む)では使用できません。
※通信距離は設置環境により異なる場合がありますのでご了承ください。
※電源スイッチを切り切りした時に、一瞬明るく光った後で調光、点灯状態になる場合があります。

⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

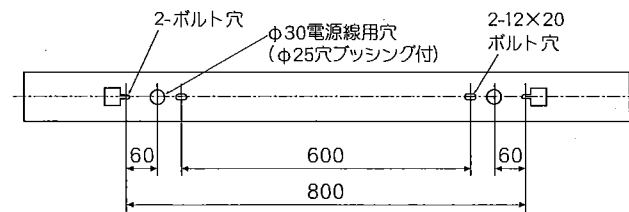
- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

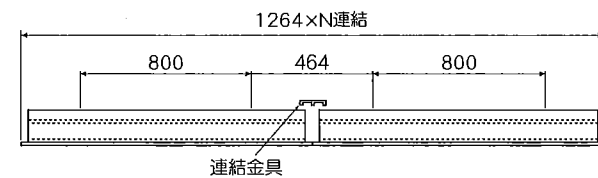
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

ERK9477W-T 6版

◆取付寸法



■連結取付の場合



◆取付方法

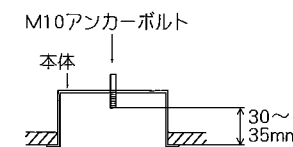
1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

2. 器具重量に耐える様、天井の取付面の強度を確保してください。

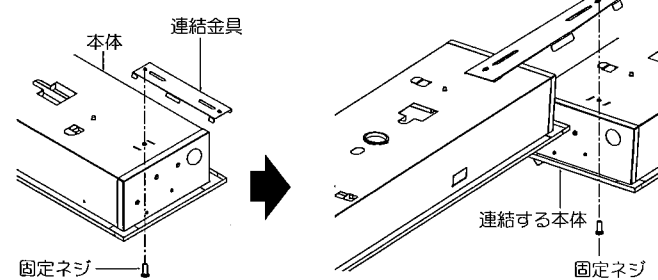
- 指定の位置にアンカーボルトを施工し、指定の埋込穴をあけてください。
- 取付用M10アンカーボルトは別途ご用意ください。
- 六角ナット、バネ座金、平座金は別途ご用意ください。
- 本体の取付穴にアンカーボルトを通し、平座金、バネ座金、六角ナットで天井面に確実に取付けてください。
- ※本体を取付ける時、六角ナットを締めすぎますと本体が変形する場合がありますので、本体が天井面になじんだところで締め付けをおやめください。

	埋込穴寸法	N台連結埋込穴寸法
ERK9477W	100×1245	100×(1264×N-19)



⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

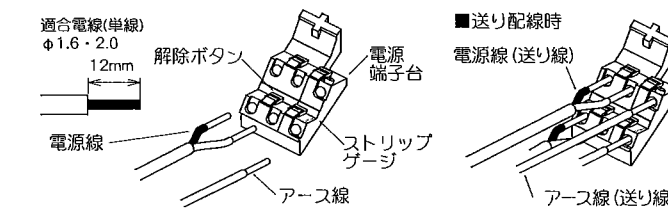
<連結取付の場合>



- 付属の連結金具を合わせ、付属の固定ネジ(1個)で取付けてください。
- 連結する本体にアンカーボルト施工後、連結金具を固定して下さい。付属の固定ネジ(1個)で取付けてください。

3. 電源線を電源端子台に接続してください。

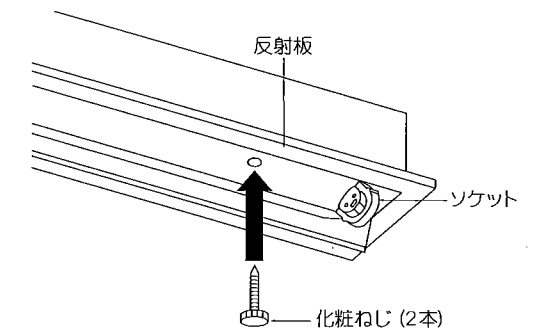
- 電源線はストリップゲージ長12mmにおいてください。
- 電源線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
- 送り容量15A以下。
- D種(第3種)接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。
- 送り配線をする場合は、電源送り線とする電源線を電源端子台の上部に差し込んでください。



⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

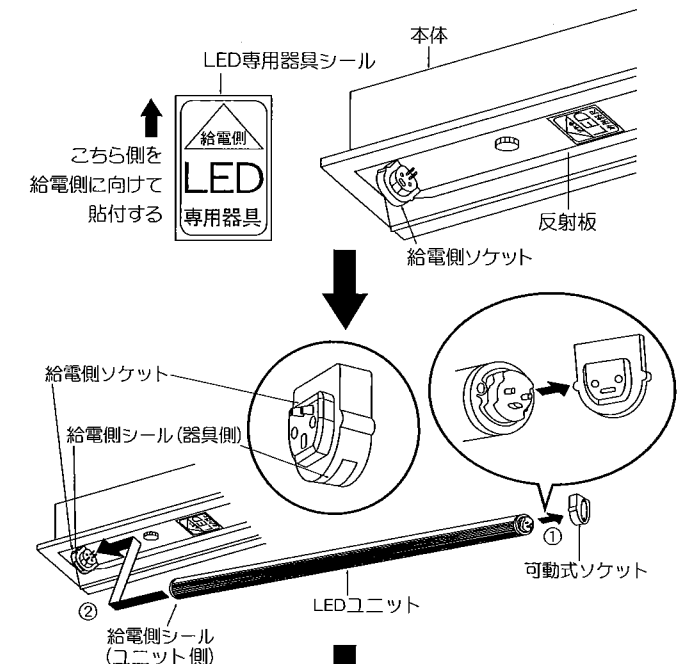
⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

4. 反射板を化粧ねじで本体に確実に取付けてください。
●化粧ねじを押し込み、その後ねじ込んで固定してください。

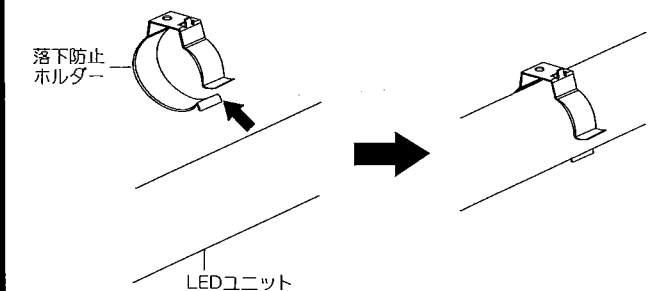


⚠ 取付けが不十分な場合、部品落下の原因となります。

5. LEDユニット付属のLED専用器具シールを、給電側ソケットの方向に合わせて反射板に貼付してください。
●シールを貼付後、可動式ソケット側にLEDユニットを差し込んでから、給電側ソケット側に差し込んでください。



●LEDユニットが落下防止ホルダーに固定されたことを確認してください。

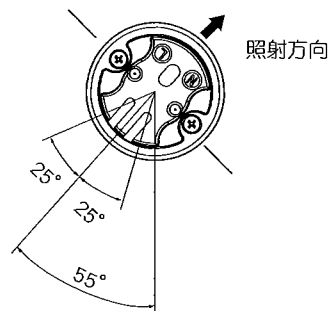


⚠ LEDユニットがしっかり固定されているか確認してください。落下の原因となります。

⚠ 接続不完全や取付け方向が反対の場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 取付けが不十分な場合、LEDユニット落下の原因となります。

6. オプティカルチューブユニットは器具取付後ユニットを回転させる事により照射方向が調整できます。



■可動範囲軸から上下に各25°
※あらかじめ光軸が55°傾けてあります。

⚠ LEDユニットに無理な力がかからないように回転させてください。LEDユニット破損の原因となります。